

研 究 結 果 報 告 書

戦時下、中国北東地区における日本女性文学 ― 牛島春子を中心に ―

所属： 大連科技学院 日本語科
役職： 教師
氏名： 鄭 穎

本研究は、政治や歴史の記録から読み取りにくい「満洲」の実像、日本人女性の生き方を牛島春子の文学を通して浮き彫りにしようとする試みである。

まず、資料収集の面では、実地調査によって大きな成果を得ることができた。当時活躍した牛島春子の散逸された作品を収集する目的で、2013年4月、中国東北部の図書館を訪問し、実地調査を行なった。その結果、「満洲」文学に関連する種々資料や牛島春子の未発掘作品を何本も見つけ出すことが出来た。その後、先行研究とマイクロ資料収集の目的で北京の国家図書館を訪問し、調査を行なった。更には、同年7月、日本に出張した。国立国会図書館や神保町の古本屋で貴重な資料を閲覧/収集した後、牛島春子の出身地である九州・久留米を訪問し、実地調査を行なった。そこでは、地元の図書館や資料館で先行研究では触れられていない貴重な文献や資料を見つけ出すことができた。また、久留米では牛島春子研究の第一人者坂本正博先生に面談し、貴重なお話を伺うことができた。

研究論文の面においては、中国で4本、日本で2本、合わせて6本の論文を発表した。「殖民地偽“満洲”的周辺状況及女性相关政策」というテーマの論文ではポストコロニアル理論を用い、東アジアの歴史状況、特に女性に関する政策など切り口として、分析を試みた。「中日两国视角下的“伪满文学”」というテーマの論文は、歴史的視点と国際的視点の両面から、中日両国それぞれの立場で客観的に「満洲文学」を再考察した。論文「植民地主義と女性―牛島春子の「女」（『芸文』一九四二年四月）を軸に一」では、牛島春子をはじめとする左翼転向者の妥協とささやかな抵抗意識を解説してみた。論文「「満洲」と日本女性―発掘した牛島春子の中国語作品『遙遠的讯息(遠くからの便り)』を中心に―」では、発掘した中国語の作品を解説してみた。論文「后殖民主义视角下的“伪满洲国”日本女性 ― 以牛島春子为中心―」では、ポストコロニアル理論と女性学理論を用いて、牛島春子をはじめとする戦時下の日本女性の複雑な生の軌跡を遡ってみた。今回の研究で得た数々の貴重な資料や成果を活かして、今後、更なる新しい研究テーマに挑戦する所存である。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

- ①「后殖民主义视角下的“伪满洲国”日本女性－以牛岛春子为中心－」鄭穎
『大连大学学报』2014. 第1期
- ②「殖民地伪“满洲”的周边状况及女性相关政策」鄭穎 『青年与社会』2014. 2
- ③「中日两国视角下的“伪满文学”」鄭穎『青春歲月』2014. 2
- ④「植民地主義と女性－牛島春子の「女」(『芸文』一九四二年四月)を軸に－」鄭穎
『かりんかりん』2014. 3
- ⑤「「満洲」と日本女性－発掘した牛島春子の中国語作品『遙遠的讯息(遠くからの便り)』を中心に－」鄭穎 『日本言語文化研究』2014. 3
- ⑥「“伪满文学”中的女性认识－以牛岛春子的《女人》为中心」 鄭穎
『中国日本文学研究会論文集』 2014. 8

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)